


<p>学校教育目標 自ら輝け 夢をつかめ ～笑顔・感動 はつらつ植水～</p>	<p>学校だより 瑞穂 </p>	<p>令和4年度3月号 令和5年3月1日 さいたま市立植水中学校</p>
---	---	--

弥生（やよい）

校長 山口 聡



日に日にあたたかさが感じられる毎日となりました。学校の周辺でも梅が咲き誇っています。2月10日、新型コロナウイルス感染拡大防止のための新たな対応について政府から発表されました。また学校における卒業式の取り組み方等についても示されたところです。歌やいくつかの場面ではマスク着用などの制限もあります。

ますが、全校生徒参加の卒業式が行えることを大変うれしく思います。

今年の東京の桜（ソメイヨシノ）の開花は3月17日という開花予想のニュースがありました。例年より早い桜の開花は「冬の気温が低く休眠打破が確実に行われたこと、これから暖かい日が多く予想されていること」からだそうです。卒業式と入学式の間に咲く予想なので満開の花を学校行事の日に見られないかもしれないかと思うと少し複雑な気持ちになります。

3月は暦で「弥生（やよい）」と呼ばれます。旧暦3月は現在のカレンダーに当てはめると3月下旬頃から5月上旬頃になるようです。この時期は様々な花が咲きはじめる時です。「弥生」の「弥」は「ますます、いよいよ」、「生」は「草木が生い茂る」という意味があり、冬が終わり、草木が生い茂る季節を表しているそうです。自分が子供のころと比べると冬でも暖かい日が多くなったためか、桜をはじめ多くの花が以前より早く咲き始めているように思います。新しい暦での「弥生」も「草木が生い茂る」季節を表しているようになってきているようです。

学校は1年間のまとめの月となります。本年度はコロナ禍によって学校生活に制限がある中、多くのことに取り組むことができました。生徒諸君にはこれまでの生活を振り返り、来年度に向けての準備をしてほしいと思います。また3年生にとっては中学校生活3年間のまとめの月となります。新しい春はもうすぐそこに来ています。残された少ない中学校生活の日々を最後まで全力で取り組んでほしいと思います。